

公開シンポジウム

事前申し込み不要

教育と学術の明日を考える

日本学術会議は、わが国の科学者の意見をまとめて国内外に発信する日本の代表機関です。それは、第一部(人文・社会科学)、第二部(生命科学)、第三部(理学・工学)という3つの部からなり、合計210名の会員は3分の1ずつ、いずれかの部に所属しています。主要な任務は、現代の社会や世界がかかえているさまざまな課題について学術の観点から審議を行い、その結果を提言や報告という形で社会や政府に発信することにあります。今回は島根大学のご協力を得て、今期に第一部が発出した提言のなかから、社会的にも関心の高い教育と学術に関する4つの提言を選び、これを紹介するとともに多様なご意見をいただく機会を設けることになりました。皆様ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

入場
無料

日本学術会議第一部役員会

平成29年

日時

7月30日 日 13:00~17:00
(開場 12:30)

場所

島根大学 大学ホール

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

主催



日本学術会議第一部



島根大学



プログラム

開会挨拶 大西 隆 (日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長)
服部 泰直 (島根大学学長)

第1部 これからの教育を考える

《13:10-13:50》 提言「ことばに対する能動的態度を育てる取り組み
—初等中等教育における英語教育の発展のために—」をめぐって

報告：梶 茂 樹 (日本学術会議第一部会員、京都産業大学現代社会学部教授)
コメント：縄 田 裕 幸 (島根大学教育学部教授)

《13:50-14:30》 提言「18歳を市民に—市民性の涵養をめざす高等学校公民科の改革—」をめぐって

報告：小 玉 重 夫 (日本学術会議第一部会員、東京大学大学院教育学研究科教授)
コメント：毎 熊 浩 一 (島根大学法文学部准教授)

《14:30-15:10》 提言「『歴史総合』に期待されるもの」をめぐって

報告：久 保 亨 (日本学術会議第一部会員、信州大学人文学部教授)
コメント：丸 橋 充 拓 (島根大学法文学部教授)

《15:10-15:25》 休 憩

第2部 人文・社会科学からの提言

《15:25-16:55》 提言「学術の総合的発展をめざして—人文・社会科学からの提言—」をめぐって

報告：三 成 美 保 (日本学術会議第一部会員、奈良女子大学大学院生活環境科学系教授)
コメント：田 中 則 雄 (島根大学法文学部教授)
朝 田 良 作 (島根大学法務研究科教授)
尾 崎 浩 一 (島根大学生物資源科学部教授)

《16:55-17:00》 閉会の挨拶 井野瀬久美恵 (日本学術会議副会長・第一部会員、甲南大学文学部教授)

提言の本文は、すべて日本学術会議のウェブサイトからダウンロードすることができます。 <http://www.scj.go.jp/>